

指差しゲーム

目安時間
5～10分

発話アプローチ インพุット段階：理解しやすい多くの音声に触れ、自分の中に音声を入れる

音声項目のねらい：音声の意味を推測する

音声項目：1、2語聞いて、反応する

適した時期：インพุット段階の初期1番目のアクティビティー

言語材料：各単元に出てくる英単語

準備：カード、または、英単語が書かれた絵シート

形態：個人、ペア、グループ、

- 手順
- ①慣れ親しませたい英語が載っている絵シートや絵カードを用意します。個人やペアなら間に、グループならば、真ん中に、英語の絵がある1枚の絵シート、または絵カード1セットを置きます。
 - ②指導者が言った単語の絵を探して、指で差します。指せたら1ポイントをもらえます。

指導のポイント

- ・まずはよく聞かせることを心掛けます。はじめは、一人一人のシートでゲームを行い、指導者は、児童が指せているか確認しながらゲームを行います。慣れてきたら、ペアやグループでやっていくとよいでしょう。

<指さし指残しゲーム> (同じねらいをもつ活動)

手順：基本的には、①、②は同じです。

- ③指を指定したり、指した指はそのまま離さず押さえたままゲームを進めたりしてもいいです。

指導のポイント

- ・親指と小指、右手と左手など交互に押さえさせ指を残しながら指していく方法もあります。
- ・競争させてもいいですが、ペアで助け合いながらゲームをしていき、合計点を言わせてもよいでしょう。
- ・ペアをグループにして、その中央に絵カードを並べてもよいでしょう。
- ・最初に、児童にキーセンテンス(例文) When is your Birthday? を尋ねさせてから、指導者が、 My birthday is in October. と言い、児童もまねして言った後に、指でさすようにすると、繰り返し聞いたり言ったりできる活動になります。(インテイク段階にも応用できます。)



ミッシングゲーム

目安時間
10分程度

発話アプローチ **インプット段階： 理解しやすい音声に触れ、自分の中に音声を入れる**
音声項目のねらい : 聞いた音声のイメージをもつ
音声項目 : 具体物を手がかりにしてイメージをもつ
適した時期 : インプット段階 少し聞き慣れてからの2番目のアクティビティー

言語材料 : 単元の英単語に使用できます。

準備 : 掲示用単語絵カード

形態 : 一斉

- 手順**
- ① 指導者は、黒板にカードを貼り、1枚～複数枚カードを隠した後で、“What is missing?”と聞きます。
 - ② 児童は、隠されたカードを答えます。

指導のポイント

- ・このゲームをする前には、カードの英語をおぼろげながらも言えるように、リズムを付けたりしながらまねして言わせておくことゲームがしやすくなります。
- ・はじめは、隠したカードの場所を空けておき、分かりやすくします。慣れてきたら、隠すカードの枚数を増やしたり、隠したカードの間を詰めたり、ランダムにカードを並べ替えたりします。



英語ノート2より

カルタ取りゲーム 時計回りカルタ 月バージョン

目安時間
10分～15分

発話アプローチ インテイク段階：聞いた音声の意味を理解し、自分の言葉にしていく

音声項目のねらい：意味の推測を繰り返し、理解を深める

音声項目：聞いた英語を理解し、反応して言う

適した時期：インテイク段階、初期の1番目のアクティビティー

言語材料：When is your birthday? January, . . . December
他 多くの表現に使用できます。

準備：配布用絵カード（月カードなど）24枚（各月のカード2枚ずつ）×グループ数、

形態：3～5人のグループ

- 手順
- ① 月をカードにしておき、1グループに2セットずつ配ります。
 - ② 絵カードを机の上に並べ、グループの中で1番目の人を決めます。1番目以外の児童が、When is your birthday?と尋ねたら、グループの中の1番目の児童が、読み手となり英語で月名を言います。他の児童は、聞いたカードを取ります。
 - ③ 月名を言う読み手の児童は、時計回りで順番に変わります。

指導のポイント

- ・カードを取る時に、児童が、月の名前を英語で言ってからとります。言っていると自分のカードにできます。「はい January」など。
カードは2セットの方が、取り手が2人に増え、子どもの意欲が出ます。
- ・カードを絵カードにして、絵の部分を多くすると、イメージを膨らませる効果があります。
- ・カードを数字や文字の部分を強調すると、意味の推測を深める効果があります。



Go Fish ゲーム

目安時間
10分～15分

発話アプローチ インテイク段階：聞いた音声の意味を理解し、自分の言葉にしていく

音声項目のねらい：意味の推測を繰り返し、理解を深める

音声項目：聞いた英語を理解し、反応して言う

適した時期：インテイク段階 1番目、2番目のアクティビティーでもOK

言語材料：単元の多くの英語表現に使用できます。動物、果物、食べ物、野菜・・・

準備：カード 20～30枚×グループ数、

形態：3～6人のグループ

- 手順
- ①山札（20枚～30枚）を池に例え、山札からカードを引くことをつりに例えています。一人3枚ずつカードをとり、持ち札とします。後のカードは、山札となります。はじめは、持ち札の3枚のカードが、別の種類になるよう調節します。
 - ②最初の人、自由に指名し自分の欲しいカードをもっているか質問します。
例) Do you have a cute dog ?
相手があるカードを持っていれば、例) Yes, cute dog . Here you are. と言って渡します。もらった人は、Thank you. と言ってもらいます。
 - ③質問された人が、カードを持っていない場合は、No, go fish と言います。その場合、質問した人は、山札から1枚カードをとらなくてはなりません。
 - ④友達から得たカードや、山札からひいたカードにより、同じカードが2枚揃ったら、机の上に表にして出せます。
 - ⑤最初に質問した人の隣の人が、次の質問者となります。（時計回り）
 - ⑥同じように続けていき、持ち札がなくなったら終了です。たくさんカードが揃った人が勝ちとなります。

指導のポイント

- ・最初の人、 “What do you want? “などキーセンテンスで質問してもらい、“～. Please.” と答え、カードをもらうところから始めることもできます。
- ・最後に揃ったカードを並べ、たくさんそろった人を、しっかり誉めてあげましょう。
- ・いろいろなカードの種類を混ぜ、同じグループのカードを集めるようにしてもよいでしょう。



誕生日人物交流ゲーム キャラクターゲーム(誕生日編)

目安時間
10～15分

発話アプローチ インテイク段階：聞いた音声の意味を理解し、自分の言葉にしていく

音声項目のねらい：理解した英語を使いながら自分の言葉にしようとする

音声項目：理解した英語を使って、相手のもっている情報を得て、自分のことを理解した英語で伝える。

適した時期：インテイク段階、2番目以降のアクティビティー

言語材料：単元のキーセンテンス、単語

例) A: When is your birthday? B: My birthday is in May.

日にちまで答えるならば B: My birthday is May 21st.

Who are you?

準備：誕生日が書き込まれている人物の写真や絵カードを黒板に掲示用と児童に配付する分
(児童の学校の先生や身近な人物、キャラクターだと児童は意欲的になります。)

形態：クラス全体

- 手順
- ①誕生日が書かれた人物のカードを1枚もらい、教室を歩き、出会った友達とジャンケンをします。(アドリブやジェスチャーをもらったカードの人物になりきるよう伝えます。)
 - ②出会った友達とジャンケンをして、勝った人から、My name is ~. Who are you? と聞きます。
 - ③負けた人は、ジェスチャーなどをしながら My birthday is in May. などと言いながら、もらったカードに書かれた人物の誕生日を言います。
 - ④勝った人は、言われた誕生日から人物を当てます。 You are Ieyasu?
 - ⑤負けた人は、Yes, my name is Ieyasu. Who are you? と聞き、ジャンケンに勝った人は、負けた人と同じように③を繰り返します。
 - ⑥お互いにもらった人物の誕生日を当て合うことができたら、カードを Here you are. と交換し、別れて他の人のところに行き、同じように人物になりきり、誕生日から人物を当てます。

指導のポイント

- ・別れる場面で Thank you. You are welcome. 等の表現をすることで、気持ちのよいコミュニケーションがとれることに気付かせるとよいでしょう。
- ・ゲームのやり方が分かるように、デモンストレーションで紹介するとよいでしょう。
- ・児童のやりとりに使う英語は、誕生日の日にちまで答えられるようなら、実態に合わせて取り入れましょう。

好きな漢字をインタビューしよう

目安時間
15分

発話アプローチ アウトプット段階：自分の言葉として発話する

音声項目のねらい：分かる英語を繰り返し使い、英語に慣れ親しむ

音声項目：分かる英語を使って相手に尋ね、必要な情報を得る

適した時期：アウトプット段階、1時間目のアクティビティー

言語材料：A: Hello, What kanji do you like? B: I like this kanji. A: Why? B: Because, ~. (理由は、日本語でOK)

A, B: See you.

準備：ハガキサイズくらいに切った画用紙児童の人数分、マジック

形態：一斉

- 手順
- ① 画用紙に自分の好きな漢字を大きく書かせ、理由を考えさせておきます。裏には名前と好きな理由を鉛筆で小さく書かせておきます。
 - ② 漢字を書いたカードをもって教室を歩き、出会った友達と Hello, My name is ~. とお互いに挨拶をします。ジャンケンをして、勝った人から、What kanji do you like? と聞きます。
 - ③ 負けた人は、I like this kanji. とカードを指しながら言います。
 - ④ 勝った人は Why? と聞き、負けた人は、Because, ~. と漢字の好きな理由を答えます。このときは日本語が入っても構いません。
 - ⑤ 次に交代して同様に質問し、答えます。これを他の友達とも同じように繰り返していきます。
 - ⑥ 10分くらい経ったら、カードを集めどの子の漢字かクイズを出します。漢字を見せて誰のものか、好きな理由も答えさせます。

指導のポイント

- ・はじめに、インタビューをした後で、誰の漢字か当てるクイズをすることを伝えておきます。
- ・別れる場面で Thank you. You are welcome. 等の表現をすることで、気持ちのよいコミュニケーションがとれることに気付かせるとよいでしょう。
- ・ゲームのやり方が分かるように、デモンストレーションで紹介するとよいでしょう。
- ・児童のやりとりに使う英語は、誕生日の日にちまで答えられるようなら、実態に合わせて取り入れましょう。

春

表

(理由)
生まれたのが春だから
名前

裏

作った誕生日カレンダーを 紹介しよう

目安時間
15分～20分

発話アプローチ アウトプット段階： 自分の言葉として発話する

音声項目のねらい：場面や相手に応じ、自分の分かる英語を選んで表現する

音声項目：分かる英語を使って、相手のことを知ったり、自分のことを分かる英語で伝えたりする。

適した時期：アウトプット段階、1時間目のアクティビティー

言語材料：When is your birthday? My birthday is August 21st. This is ~. Nice.

準備：作成した誕生日カレンダー、カードを紹介するときに使う持ち運びできるボードなど

形態：一斉

- 手順
- ① 誕生日が示された自作の誕生日カレンダー（カード）を持ち、出会った友達とジャンケンをし、勝った人から、My name is ~. My birthday is August 21st. などと紹介します。
 - ② カレンダーに描かれた誕生日月に似合うものやよいところなどを英語や日本語交えて紹介します。例) This is a snowman. などカレンダーを指しながら説明します。
 - ③ 紹介してもらったら、Nice. など知っている英語で誉めるようにします。
 - ④ ジャンケンに負けた人も交代で同様に紹介します。
 - ⑤ 紹介し終わったら、あいさつをきちんとして別れます。Thank you. See you. など
 - ⑥ 10分程度、教室内を歩きながら出会った友達に自分の誕生日やカードについて紹介し合います。
 - ⑦ 時間になったら、カードを集め、ヒントを出しながら誰の誕生日かをクラスで当て合います。



指導のポイント

- ・最初に、紹介し終わったら、誕生日のクイズが出されることを伝えておきます。「何月生まれは何人か」などクイズのヒントを言っておくと、児童は多くの人と交流しようとしてします。
- ・別れる場面で Thank you. You are welcome. 等の表現をすることで、気持ちのよいコミュニケーションがとれることに気付かせるとよいでしょう。
- ・ゲームのやり方が分かるように、教師がデモンストレーションで紹介すると伝わります。
- ・クイズは、児童の誕生日に関わることやカードにかかわることなど、例) His birthday is ~. He likes sea. Who is he?など児童の実態に合わせてクイズを考えて下さい。

作った絵本でクイズを出そう

目安時間
15分～20分

発話アプローチ アウトプット段階：自分の言葉として発話する

音声項目のねらい：場面や相手に応じ、自分の言いたいことを考え、言葉を選んで伝える

音声項目：場面や相手に応じ、自分の言いたいことを考え、言葉を選んで伝える。

場面や相手に応じ、自分の知っていることを人に伝え、話を聞いて自分も分かる英語で応じる

適した時期：アウトプット段階、最後のアクティビティー

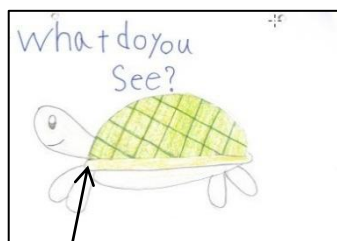
言語材料：What is this? /What do you see? I see a strong lion/cute dog /small frog/tall giraffe/fast horse/noisy monkey/long snake/powerful gorilla/big elephant
1st hint is～. 2nd hint is～. 3rd hint is～. That right. Excellent.

準備：ハガキサイズくらいに切った画用紙児童の人数分、マジック

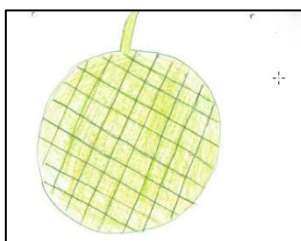
形態：グループ（5人から6人のグループ）ごとに絵本を作成し、発表する。

屋台方式で下級生に発表する

手順 ① 画用紙2枚を1セットにして、隠し絵のクイズを作る。1人1セットから2セット作り、リングで合わせる。

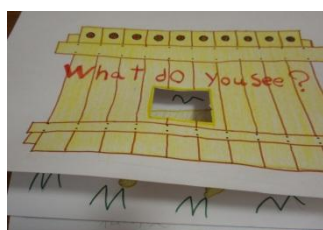
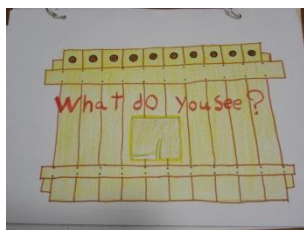


1枚目



2枚目

★亀のこうらの部分だけが切り取られ、メロンの部分が見えています。



② グループのみんなでタイトルを言った後に、What is this? / What do you see? と聞き、1st hint is～. 2nd hint is～. 3rd hint is～. と3つヒントを言った後で答えてもらう。

③ 答えが合っていたら、That right. Excellent. などと誉め、違っていたら close. などと励ます。

指導のポイント

・ヒントは、クイズに答える児童に合わせ、具体物やジェスチャーも加えて示すとよいでしょう。